

附属幼稚園だより 第12号

令和5年2月28日発行 文責:室野亜津子

「したい 知りたい やってみよう」
がっぱの幼稚園

それぞれの子ども会

今年は、コロナ対策も緩まり、学級を分けることなく保護者の方にお集まりいただき、子ども会を実施することができました。

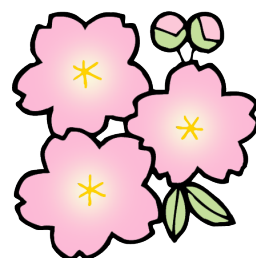
本園の子ども会は、「見栄えの良いものに仕上げて見せる」ことがねらいではなく、子どもたちの表現する楽しさや喜びを大切にしています。ですから、子ども会に向けて、教師は計画的に「種まき」をし、アンテナを張って、子ども会につながりそうな遊びを子どもたちの中から見付けます。例えば、観劇会の時期を子ども会の前にするのも「種まき」の一つです。劇を見た子どもたちが「劇をやってみよう」と思うように。また、劇につながりそうな絵本を読み聞かせ、翌日、その絵本に出てくる小道具（「大きなかぶ」のかぶ、「桃太郎」の日本一の旗など）を保育室に準備しておくのも「種まき」です。教師側が決めたものを子どもに「させる」のではなく、子どもが自ら「したい」と思うように、教師は先を見通しながら「種まき」をするのです。まかれた種が子どもの実態に合っていれば、芽が出て、すくすく伸びて、きれいな花を咲かせます。その花の咲く時期がちょうど子ども会になるように、教師は時機を見て種をまくのです。

年少児は、いつもの保育室で、いつもどおりに自己発揮できることが一番の願いです。何に出るかを決めても、翌日には気持ちが変わるのが子ども。それを受け入れ、臨機応変に対応します。当日の朝に気持ちが変わった子どももいましたが、それさえも対応できた担任は、さすがだなと感心しました。

年中児は、子どもたちのアイデアが豊かで、日に日に進化していました。子どもの「お母さんと一緒にしたい。」というつぶやきから、保護者参加型に決めたのは、子ども会の前日。子どものつぶやきを大切にしています。

年長児は、これまでの幼稚園の遊びの集大成。今まで経験してきた遊びと身に付けた表現力や技術を駆使して、見ごたえのある子ども会になりました。そこに至るまでの話し合いが年長児ならではの。教師は、子どもの願いが実現するためのサポート役。子どもが主体になって進め、考え、イメージを実現した子ども会でした。同じ目的に向かって一人一人力を出し合うという経験をして、こどもたちの協同性がさらに高まりました。

子ども会の日までのお子さんへの励ましや期待の言葉、当日の温かい拍手、帰宅してからの賞賛の言葉、それらが子どもたちの自信や自己肯定感の高まりにつながりました。ありがとうございました。



話し合う姿

- A「先生たちに『ありがとうの花』を歌いたい。」
- B「なんでそう思ったの？」
- A「卒園式の前に、お世話になった先生たちにありがとうの気持ちを伝えたいから。」
- C「歌を歌った後はどうするの？」
- D「場所は？」

Aの子どもの願いに対して、B,C,Dが教師でなくて、子どもの言葉だというから驚きです。

年長児が、卒園を前にして話し合いをした姿です。一人が言い出した願いを実現するために、より具体的なところまで考えを深める話し合いができています。

ラキューという図形遊びについて、作ったものをそのままにしていると、遊べるパーツが足りなくなってきたからどうすればいいかという話し合いが行われました。

- A「完成したものは崩せばいい。」という意見にみんなうなずいていたところに
 - B「いや、でも、完成した後に遊びたい。遊ばないまま崩すのは嫌だ。」
 - C「じゃあ、完成して、遊び終わったものから崩そう。」
 - D「それがいい。」
 - F「お手本見たらまた遊びたいときにつくればいいしね。」と意見がまとまりかけたとき
 - J「でも、お手本を見ないでつくることもある。崩したらもう二度と遊べないから、完成しても遊んでも崩すのは寂しい。」
- 多数「ああ。なるほど確かに。」

○多数の意見がまとまりかけているところでも、BやJのように違う視点から意見が言えること

○Cのように「じゃあ」と折り合いをつけようとする意見が言えること

○Fのように共感する意見が言えること

○Jの意見を「ああ。なるほど確かに。」と受け入れること

これらの年長児の姿は、急に現れるものではなく、年少や年中のときから、安心して自分の考えを言える学級、話に耳を傾けてくれる存在があったからこそ。立派に育った年長児の話し合いの姿です。

3月行事予定

- 2 (木) さようならの会 (年長児とのお別れの会)
- 3 (金) 学級懇談会 (年長) 弁当終了日
- 8 (水) 親子清掃、学級懇談会 (年中・年少)
- 10 (金) 修了証書授与式 (年中・年長は休み)
- 23 (木) 修了式、離任式

※離任式は11時からです。保護者の方もご参加ください。